

## 地域包括ケアモデル事業について

### 1 内 容

「地域包括ケアシステム構築に向けた提言」で提示されたモデルについて、モデル地区を設定して平成26年度から3年間モデル事業を実施し、地域の特性に応じた具体的なシステムを構築する。

モデルについては、最初にシステムの要となる医療・介護等の関係機関による連携体制を構築し、その後段階的に介護予防、生活支援、住まい対策の取組を進めていく。

### 2 実施市

モデル	箇所数	実施市
地区医師会モデル	3 箇所	安城市、豊川市、田原市
訪問看護ステーションモデル	1 箇所	新城市
医療・介護等一体提供モデル	1 箇所	豊明市
認知症対応モデル	1 箇所	半田市
単年度モデル（26年度のみ）	3 箇所	岡崎市、豊田市、北名古屋市

※ 平成26年度においては、地区医師会モデル及び医療・介護等一体提供モデルは在宅医療連携拠点推進事業と併せて実施。

#### 【モデルの説明】

モデル	説明
地区医師会モデル	市町村と地区医師会が中心となって、在宅医療提供体制を整えるとともに、医療・介護・福祉の関係機関の連携ネットワークの構築及び、地域包括ケア全体のマネジメント体制の構築を行う。
訪問看護ステーションモデル	医療資源が限られた地域で、訪問看護ステーションが中心となり、市町村、地区医師会と連携しながら、ネットワークを構築するとともに、地域包括ケア全体のマネジメント体制の構築を行う。
医療・介護等一体提供モデル	医療・介護等を一体提供する法人が、市町村、地区医師会と連携し、システムの構築を行う。
認知症対応モデル	認知症に対応した新たな取組を行うなど、認知症対応に重点を置いてシステムの構築を行う。
単年度モデル	上記のモデル事業等を実施しない圏域において、医療と介護の連携等に集中的に取り組む。

### 3 3年間の主な取組

26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関のネットワーク化（関係機関連絡会議、地域ケア会議の開催等）</li> <li>医療と介護の連携（ICTを活用した情報共有、多職種の研修、普及啓発等）</li> <li>認知症に関する多職種の研修、普及啓発〈認知症対応モデル〉等</li> </ul>
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年目の取組の継続</li> <li>高齢者の社会参加・生きがいと融合した予防の取組（高齢者の介護予防のための通いの場を、元気な高齢者にボランティアとして参加してもらいながら開催等）</li> <li>不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討</li> <li>要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の検討</li> <li>認知症に対応した新たな取組（認知症カフェの設置等）〈認知症対応モデル〉等</li> </ul>
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、2年目の取組の継続</li> <li>不足している生活支援サービスの強化策の実施</li> <li>要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の実施</li> <li>認知症に対応した取組の充実（認知症カフェの運営等）〈認知症対応モデル〉等</li> </ul>

#### (参考)

#### 地域包括ケアの推進に係る市町村の取組

##### ① 関係機関連絡会議の開催

平成27年9月調査

取組内容	市町村数
	全市町村に占める割合
医療、介護、予防、生活支援、住まい等の関係者で構成する会議を開催し、地域の課題把握や解決策等の検討を実施	16
	30%

##### ② 地域包括支援センターの取組

取組内容	市町村数
	全市町村に占める割合
医療、介護、予防、生活支援、住まい等の資源を把握し、総合的な相談が実施されているとともに、地域ケア会議で困難ケース等の対応について検討を実施	41
	76%

##### ③ 基盤整備の取組

取組内容	市町村数
	全市町村に占める割合
不足している医療、介護、生活支援等サービス基盤の整備に向けて順次取組を実施	26
	48%

※ ①～③すべてに取り組んでいるのは13市町村（24%）